

**公益社団法人日本経営工学会**  
**第38期第3回理事会議事録**

日 時： 2026年1月24日(土) 14:00～17:30

場 所： 早稲田大学早稲田キャンパス14号館801教室

出席者：(理事) 船木謙一, 皆川健多郎, 藤野直明, 西野成昭(オンライン), 竹野建夫(オンライン), 葛山康典, 市来寄治, 赤木宏匡, 竹本康彦, 大森俊一(オンライン), 木内正光(監事) 滝聖子(オンライン), 宗澤良臣(オンライン)

欠席者：(理事) 石原良晃, 野中朋美

対面及びWeb会議システム(Zoom)を用いてのハイブリッドにより理事会を行った。開催前に出席者の音声や映像を確認した上で、議案の審議に入った。

## **議決事項**

### 1. 入会承認の件

木内庶務担当理事より、資料(G-1)に基づき、正会員7名、賛助会員2社、賛助個人会員1名、学生会員20名の入会の提案があり、全会一致で承認された。なお、来年度の入会の承認については、メール審議などを組み合わせることで、毎月実施することを検討できないかとの意見があった。

### 2. 学会事務局との契約継続について

木内庶務担当理事より、資料(G-2)に基づき、学会事務局(国際文献社)との契約継続について説明があった。議論の結果、以下の内容について国際文献社に問い合わせをすることになり、契約は継続審議として次回理事会に持ち越すこととなった。

- ①3ヶ月に一度、業務委託費用(第2条の単価一覧)における明細の取得について伺う。これは、発生したかどうか分からない費用の把握や、学会としての努力がどのように繋がったかを明確にするためである。
- ②業務不備に関する記載がなく、不測の事態への対応方法についても明確でないため、条項としての記載について伺う。これは、今期発生した経営システム誌の事案に関連しており、事前に不測の事態への対応を決めておくことの必要性が高まったからである。

### 3. 2026年度事業計画案について

木内庶務担当理事より、資料(G-3)に基づき、2026年年度事業計画案について説明があった。議論の結果、以下の内容について検討をすることになり、計画案は継続審議として次回理事会に持ち越すこととなった。

- ①事業計画案全体を通して、用語を統一する(「秋季大会」と「秋季研究大会」、「委員会」と「運営委員会」など)。
- ②事業計画案記載の理事会開催月を、4月、5月、7月、9月、11月、1月、3月の7回とする。
- ③事業計画案における広報委員会の記載はそのままとし、皆川副会長、藤野副会長、竹本理事、木内理事で広報への素案を作成する(予算も含めて)。なお、今期の活動については、庶務委員会で実施したことを総会で報告する。

### 4. 2026年度予算案について

皆川財務担当理事より、資料(G-4)に基づき、2026年度予算案について説明があった。議論の結果、以下の内容について検討をすることになり、予算案は継続審議として次回理事会に持ち越すこととなった。

- ①議決事項2.とも関連し、予算の増減について、学会としての活動がどのように関わっているのかを紐付けできるようにする。例えばP17, 1.経常増減の部(2)経常費用における事業費の委託費が下がったことと、学会との活動とを結び付けられるようにする。
- ②P17, 1.経常増減の部(2)経常費用における事業費の「HP関係費」と、同ページ(2)経常費用における管理費の「HP関係費」との違い及び予算が増額されている理由を確認する。
- ③P17, 1.経常増減の部(1)経常収益における「支部収益」について、予算額を確認する。なお、関連して、市来寄支部担当理事より、支部予算の決め方(P34)が説明された。
- ④議決事項3.より、広報委員会の予算を計上する。

#### 5. 2025年度秋季大会のBPA審議のお願い

大森表彰担当理事より、資料(G-5)に基づき、2025年度秋季大会のBPA審議のお願いがあり、候補者7名がBPA受賞者として全会一致で承認された。

#### 6. JABEEの継続・退会について

大森国際・渉外担当理事より、資料(G-6)に基づき、JABEEの継続依頼について説明があった。議論の結果、学会の方向性、リソース、効果などより、学会としては継続依頼をお受けしないことで、全会一致で承認された。

#### その他

なし

### **協議事項**

#### 1. 産官学連携委員会活動報告

赤木産官学連携理事より、資料(K-1)に基づき、産官学連携委員会の活動報告と、秋季大会OS企画について協議した。秋季大会OSについては、大会の一部として大会へ誘導することを目的とし、参加費は大会費に含む方向で検討することとした。また、開催内容について、以下のような意見があった。

- ・企画行事との重なりを気にせず、大会のOSとして、共同研究事例紹介、JIMA研究部門紹介、産業界からの課題提示と学术界からの解決策提示などを企画する。
- ・JIMA研究部門紹介については、研究委員会でも検討する。
- ・産官学連携委員会での議論内容と、支部委員会での議論内容に類似の点があるため、連携して検討を進める。
- ・経営工学を知ってもらおう試みとして、文献を紹介する。

#### その他

なし

### **報告事項**

#### 1. 2026年春季・秋季大会運営業務委託継続の件

葛山大会担当理事より、資料(H-1)に基づき、2026年春季・秋季大会運営業務委託継続について報告があった。現状ではカンファレンスサービスに対して毎年調達契約をしているが、国際文献社(学会事務局)のように法人同士での包括契約の方がよいのかを検討することとなった。また、関連

して、会員や研究発表者の大会への参加及び登録の意味合いについても議論がされ、今後の検討事項として確認された。

## 2. 2025年春季・秋季大会決算について

葛山大会担当理事より、資料(H-2)に基づき、2025年春季・秋季大会決算について報告があった。補助金の影響もあり、過去にあまり例のない黒字となったことが確認された。また、関連して、大会における企業のリクルートについての議論があり、大会はあくまで「学术交流の場」としての位置付けが確認された。

## 3. 学会誌廃棄費用の報告

竹本経営システム誌担当理事より、資料(H-3)に基づき、学会誌(論文誌及びシステム誌)の廃棄について報告があった。保管数と保管料の関係の把握及び廃棄の効果を想定し、廃棄数が決定されたことが確認された。定期点検については、今後の委員会で検討していくこととなった。

## 4. 支部委員会活動報告

市来寄支部担当理事より、資料(H-4)に基づき、支部委員会活動の報告があった。議決事項4.での説明以外の箇所について、支部委員会の活動及び会員状況分析について確認された。議決事項における事業計画や予算の議論にも挙げたが、今後は他の委員会と連携をした活動を視野に入れていくことを検討していくこととなった。

## 5. 退会の件

木内庶務担当理事より、資料(H-5)に基づき、正会員2名、学生会員1名の退会の報告があった。

## 6. 国際渉外委員会からの協賛の報告

大森国際・渉外担当理事より、資料(H-6)に基づき、協賛事業について10件の報告があった。

## 7. 学術著作権協会との管理委託契約におけるAI利用追加について

担当理事が欠席のため、次回の理事会で報告をいただくこととなった。

## その他

なし

## 業務執行状況報告

船木会長・皆川副会長・藤野副会長より、代表理事及び業務執行理事として以下のような職務執行状況の報告があった。

### ・船木会長

MOUに基づくCIIE連携の一環としてCIIE大会へのJIMA会長挨拶メッセージを提供、早稲田大学においての講演、ステーションAiへの訪問

### ・皆川副会長

財務経費執行承認、2026年度予算案取りまとめ、日刊工業新聞社との打ち合わせの実施

### ・藤野副会長

経営者及び他団体の有識者と「経営工学」について議論

議 長 船木 謙一 印

議事録署名人 滝 聖子 印

議事録署名人 宗澤 良臣 印